

児童図書や展示板寄贈

藤崎建設
私募債活用

麻生東小と麻生中に

行方市新宮の藤崎建設工業(藤崎政行社長)は、千葉銀行(本社千葉市、佐久間英利頭取)の地方創生私募債「みらいはぐくみ債」を活用し、市立麻生東小(花ヶ崎圭一郎校長)と市立麻生中(青木利宏校長)に教材用物品を贈った。

同債は、企業が私募債を発行する際、同行が手数料

の一部を利用して学校や児童福祉施設等に贈る物品を購入する。5日に同市麻生の市役所麻生庁舎で開かれた贈呈式では、藤崎社長と両校長らが出席。藤崎社長から目録が手渡された。藤崎社長は、統合で両校が誕生する以前の、大和第一小と麻生第一中の卒業生。今回は、麻生東小には児童図書約140冊、麻生中には折り畳み式の展示板とラミネーターを贈った。



母校に教材用物品を寄贈した藤崎建設工業の藤崎政行社長(右から3人目)ら。行方市役所

んでもらって、やがては行方市へ戻ってきてほしい」と話した。正木邦夫教育長は、「両校とも統合によって誕生したが、備品などの面はこれからの部分もある。本当にありがたい。頂いた品を教育に生かし、活動していきたい」と感謝していた。